

【様式①】令和4年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立青山中学校

校長名 岩井 隆司

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
学校・家庭・地域との協働による指導体制の確立	・学校、地域がそれぞれの役割を明確にし、コロナ禍でできることを考え、積極的に地域に関わっていきける生徒を育てる。またHPを有効に活用する。 ・今後も生徒の気になる姿について、地域と情報共有し、いじめの未然防止につなげられるようにする。	A	・コロナ禍でも、可能な範囲でまちづくり協議会と連携し、夏祭り、市民運動会などの地域行事にボランティアスタッフとして参加した。また、積極的にその様子をHPで発信できた。 ・生徒会とPTAが、「いじめ」をテーマに、オンラインで意見交流を行った。また、気になる姿はすぐに地域や保護者と連絡を取り合い、健全育成につなげることができた。	・コロナ禍でも、学校・家庭・地域が連携できるように、ボランティアスタッフとして積極的に地域行事へ参加できていた。今後も、学校・家庭・地域の役割の在り方を検討していく。	・新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されることに伴い、改めて学校・家庭・地域のそれぞれの役割を明確にする。 ・生徒や保護者、地域の声を大切にして、いじめの未然防止につなげ、誰もが安心して生活できるようにする。
学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた社会に開かれた教育課程の編成と実施	・タブレットに依存するのではなく、よりよく使うということを意識しながら使えるよう、具体的な活用の在り方を実践し、データの蓄積をして、交流していく。 ・生徒会と児童会がICT機器等を活用して連携し、情報モラルの在り方について考え、保護者とともに考えていく場をつくる。	B	・タブレットの活用を積極的に進め、自己の学びを見つめたり、学習支援ソフトを授業や家庭学習等で活用したりして、生徒が主体的に学ぶ姿につながった。 ・児童会と連携した情報モラルの取組はできなかった。	・コロナ禍において、生徒が積極的にタブレット等のICT機器を使いこなしている姿がある。学習を苦手になっている生徒にも、意欲的に学べる場を位置付けている。	・意欲的に学び続けることができるように、今後も、ICT機器の活用や学びの場の工夫をしていく。 ・岐阜市のよさを意欲的に学ぶことができるように、「ぎふMIRAI's」と教育課程を効果的に関わらせる。
幼保小連携や小中一貫の考えのもと、地域人材を活用した学校づくりの推進	・小中学校の連携を継続的に行うことで、校区の財産としての挨拶活動になるように努める。生徒が進んで地域の方に挨拶する姿を生徒会活動等を生かしながらさらに生み出していく。	A	・「青山中学校区児童生徒が育つ連絡協議会」において、校内、校外での善行を称える「善行賞」を認定し、表彰を行った。 ・生徒会が中心となって、鷺山・常磐の2小学校であいさつ運動に取り組んだ。	・「青山中学校区生徒会サミット」「小中あいさつ運動」など、小中の連携の充実により、意欲的に活動に取り組む姿に繋がった。 ・あらゆる場で、生徒自身が自分のよさを実感できる場が位置付けられており、自己有用感を高める活動になっている。	・今後も、小中の連携を行うことで、校区の財産としての挨拶活動になるように努める。 ・地域の行事等に積極的に参加できるようにはたらきかけ、地域人材の育成に繋げる。
教育環境と学校財務環境の整備	・学校財務を有効に運用するために、各管理場所の点検等を継続して実施するとともに、適切に会計処理する。	A	・会計処理は適切に行われた。 ・各管理責任者が、日常生活での点検を意識したため、より早く問題を把握することができた。また、財務環境と調整しながら迅速に対応したため、安心して学べる環境が増えた。	・建物の老朽化に伴い、修繕する箇所が増えてきているが、適切に対応しているため、安心して学べる教育環境になっている。	・今後も、各管理場所の定期点検を確実に継続するとともに、修繕の必要がある場合は、迅速に教育施設課等と連携して対応する。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	・「マイネット誓約書」の活動を維持すると共に、形骸化することのないよう保護者も含め、ICT機器を活用したアンケート等で確認する。また、家庭や地域との関連を図った防災の取組を通して減災に関わる意識の向上を図る。	A	・校内の破損箇所を迅速に修繕し、安全確保に努めるとともに、家庭でも防災の話題が上がるように、タブレットを活用して命を守る訓練を行った。 ・生徒がSNS等のよりよい使い方を考え、保護者に伝え、家族で考える「マイネット宣言」を作成した。	・学校での防災教育を、家庭に繋げる取組をしており、命を守る意識の高さを感じた。 ・避難所としての在り方について、常磐・鷺山の自治会との連携の在り方を検討する。	・地震・洪水等の災害や感染症等、あらゆる事故を想定して、避難訓練やICT機器等を活用した安全指導を継続して行う。また、青山中学校区で避難所の機能を把握できるような情報共有のあり方を検討する。 ・今後も「マイネット誓約書」の活動を維持し、SNS等のよりよい使い方を考える。

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/seizan-j/>